

大学とまちが一体となった アーバンストリートのデザイン ～千葉市西千葉学園通り



1941年頃、2つのラウンドアバウトを結ぶ学園通りを主軸とした田園都市が計画され、その一部は実現しました。1951年に東京大学第二工学部が現在の千葉大学西千葉キャンパスの位置に開学しましたが、学園通りを主軸としたキャンパス計画が特徴でした。1962年に千葉大学に代わり、まちの軸線とは異なるキャンパスの軸線へ変化しましたが、学園通りの延長上にはそれを受け止めるように、かたらいの森が整備されました。近年では学園通り沿いで道路空間の魅力化や民有地のパブリック化など市民によるまちづくりの取り組みが見られつつあります。これらを踏まえて、大学とまちが一体となったアーバンストリートのデザインを千葉大生が提案します。市民の皆様と今後の学園通り沿いの将来像を共有し、その実現方法について議論できればと考えています。

松浦 健治郎
千葉大学大学院工学研究院 准教授

主催：千葉大学都市計画松浦研究室
協力：千葉市役所・株式会社ZOZO
・NPO法人Drops・株式会社マイキー
その他：入場無料・申し込み不要
問い合わせ先：松浦 健治郎 (matsuura@chiba-u.jp)

*この発表会は千葉大学工学部総合工学科建築学コース・千葉大学大学院融合理工学府建築学コースの合同授業・建築設計 VI/VII・建築デザイン演習 II「都市デザインスタジオ」の課題作品を発表するものです。従って、実現を前提としたものではなく、仮想の計画内容となります。

公开发表会 日時：2月23日(木・祝日)
午後2時～4時
会場：千葉大学けやき会館
大ホール



展示会
日時：2月27日(月)
- 3月9日(木)
午前9時～
午後4時45分
土日は休館
会場：千葉大学
アカデミック・
リンクセンター
展示コーナー

道路空間の再配分と沿道建物の魅力化で魅力的なアーバンストリートへの転換